

会議録

横浜市特別職職員議員報酬等審議会会議録	
日 時	令和5年1月17日（火）18時05分～18時52分
開催場所	市庁舎18階会議室 なみき16・17
出席者	秋山委員、上野委員、菊池委員、須田委員、高岡委員、角田委員、水野委員、山岸委員、吉坂委員
欠席者	片岡委員
開催形態	公開（傍聴者0人）
議 題	特別職給料及び議員報酬の水準について
決定事項	特別職給料及び議員報酬の水準については据置きとする。
議 事	<p>1 会長互選</p> <p>互選及び会長による指名の結果以下の役割が決定された。</p> <p>会長：須田委員</p> <p>会長職務代理者：上野委員</p> <p>2 議 事 特別職給料及び議員報酬の水準について</p> <p>（事務局）一般職の給与改定状況、他都市と比較した場合の特別職等の給与の状況、これまでの改定の経緯について説明。</p> <p>【審議】</p> <p>（上野委員） 物価上昇が続いており、民間でも賃金増加の意見が出ていることも事実ではあるが、中小企業には賃上げすることが難しい事業所が数多くあることも事実である。そういった状況に鑑みても、累積改定額がそれほど大きくないことを加味し、据え置きでよいのではないかと。</p> <p>（水野委員） 据え置きでよいのではないかと。</p> <p>（山岸委員） 一般職職員は、令和4年10月に月例給と特別給ともにプラスと人事委員会勧告が出ている。日本の平均年収の推移が30年間上がっておらず、他の国に比べて給料が低いという報道も出ている。額を示すのは難しいが、賃上げの機運を高める意味で、引き上げてもらいたい気持ちがある。</p> <p>（吉坂委員） 過去の累積改定額からみても、改定の必要はないと思う。</p> <p>（秋山委員） 一般職職員の改定も20代を中心とした若年層であり、累積改定額を見ても据え置きの範囲ではないかと思う。</p> <p>（菊池委員） 累積改定額が小さいため、据え置きでよいと思う。</p> <p>（高岡委員） 令和元年度時点よりも累積改定額が増加しており、プラス3,938円というのは、改定を引き延ばした場合に影響が大きくなる。若干でも、引上げを検討した方がよいのではないかと考える。</p> <p>（角田委員） 一般職職員も改定されたのが若年層を対象としたもので、特別職職員については改定の必要はないと思う。</p>

	<p>(事務局) (欠席委員の意見紹介) これまでの審議会の経過を踏まえると据え置きと考えるが、他の要素を参考とする場合は審議会の議論に委ねること。</p> <p>(須田会長) 欠席委員の意見も含め、据え置きが7名、引上げが2名となっているが、審議会として意見をまとめたい。</p> <p>(高岡委員) 意見としては先ほど述べたものであるが、他の委員の意見を聞くと、今回は据え置きでよいと思う。</p> <p>(山岸委員) 他の委員の意見を聞くと、今回は据え置きで止むを得ない。</p> <p>【総括】 「水準は据え置くべき」と集約された。</p> <p>3 その他 市長への答申等の案文については、会長に調整を一任することとされた。</p>
資 料	横浜市特別職職員議員報酬等審議会資料 一式